

令和4年度 養父市立高柳小学校だより



No.18

令和4年12月23日

たかやなぎ

《 明日から冬休み 2学期が終了しました 》

2学期が今日で終了します。12月は新型コロナウイルス感染症対応のための登校停止があり、保護者・地域の皆様には多大なるご心配・ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。冬休みも引き続き感染症対策を行っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、今学期は多くの行事で活躍した子どもたちの姿や日々教室で見せる真剣な学びの顔など、心に残る印象的なシーンが数多くありました。運動会で精いっぱい走ったり、踊ったり、競技に取り組んだりする子どもたちの姿。マラソン大会で、最後まで力いっぱい走りきった後の達成感にあふれた表情。学習発表参観日では、何度も練習を重ねてきた6年生の力強い太鼓の演奏に深い感動を覚えました。他の学年も、堂々と台詞を言ったり、合奏をしたりと、それぞれに大きな成長を感じました。日々の生活でも、落ち着いて学習に取り組み、掃除や縦割りでの活動も意欲的に行っていました。保護者や地域の皆様には、その時々学校へご協力いただき、子どもたちの成長を支えていただいたことに感謝申し上げます。様々な伝統行事が多い年末・年始です。行事を体験しながら親子のふれあいを深めていただければと思います。子どもたちが、安全・安心で楽しい冬休みを過ごせますよう、ご協力よろしくお願いいたします。皆様、よいお年をお迎えください。

《 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について 》

全国学力・学習状況調査とは、子どもたちの学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的とした調査です。小学6年生と中学3年生を対象として、4月19日（火）に実施されました。調査内容は教科調査「国語、算数・数学、理科」と質問紙（家庭生活・学校生活・社会生活）です。理科の調査は4年ぶりです。今回の調査結果の公表を受け、本校の成果と課題を検証しましたので、その概要をお知らせします。6年生の結果ではありますが、1年生から6年生までの積み重ねが学力の向上につながりますので、どの学年にも通じる部分があるとお考えください。この調査結果は学力の一部であり、学校教育活動の一側面であることを踏まえつつ、今後の指導に生かして参ります。



なお、市広報「やぶ」11月号に養父市内の小・中学校の検証結果が掲載されておりますので併せてご覧ください。

【国語について】

1 成果

- 漢字を書くなど基礎的な技能が身に付いている。漢字ミニテストなど継続的な取組が成果として現れている。
- 話し方の大切なポイントが押さえられている。スピーチの体験が生かされている。

2 課題

- 条件に合わせて文章を書くことに課題が見られる。スピーチなどによる話し言葉は正しく使えるが、要約して書くなどの体験が不足している。

3 改善に向けて

- 根拠を明らかにするなど、書くポイントを押さえた書き方に慣れさせていく。例えば総合的

- な学習の時間など他教科と関連づけながら書くことの指導を行っていく。
○色々なジャンルの本を読む経験を重ねていく。

【算数について】

1 成果

- 最小公倍数を求めるなど基礎的な技能が身に付いている。ドリルタイムの練習問題やタブレットを使った練習問題の成果が出ている。
○比例の関係の理解がよくできている。与えられた表から考察する力が付いている。

2 課題

- 果汁の割合を選ぶ問題に課題が見られた。生活体験と算数での学習が結びついていない。

3 改善に向けて

- ドリルタイムやタブレットを使った基礎基本の定着を継続していく。
○主体的・対話的な学びを重視した授業を行い、自分の考えを文章で書く・自分の言葉で説明する活動を積極的に取り入れていく。

【理科について】

1 成果

- 身近な昆虫の育ち方や食べ物が理解できている。低学年から、豊かな自然を生かした生活体験と結びつけた指導を行ってきたことが生かされている。
○実験結果を適切に記録したり、結果から自分の考えをもつことができている。授業の中で実験結果の分析や、自分なりの考えで説明する機会を多く取り入れてきた成果が出ている。

2 課題

- メスシリンダーの扱いが理解できていない。授業で取り扱う体験が不足していた。
○問題の情報量が多い場合、問われていることを整理したり、条件を分析したりすることに課題が見られた。

3 改善に向けて

- 体験的な学習活動を重視した授業を推進していく。
○なぜその実験が必要なのか、変える条件・変えない条件などを十分に理解させてから、実験や観察に取り組ませることでより深い学びにつなげていく。

【質問紙について】

1 成果

- 生活リズムが整っている。
○地域の行事によく参加している。
○自分の考えを発表する時に、自分の考えが上手く伝わるよう工夫している。
○学習に取り組む姿勢が真面目である。

2 課題

- ゲームやメディア（スマホ・SNS・動画など）に触れる時間が長い児童がいる。
○家庭読書の時間が少ない、または全くしない児童が多い。新聞を読む児童が少ない。

3 改善にむけて

- メディアとの付き合い方や家庭読書について、そうあんくんの日やPTAふれあい活動なども活用して指導を進めていく。



【保護者の皆様へ】

生活リズムが整っていたり、学習に真面目に取り組めたり、当たり前なのが当たり前でできる力が身に付いていることは、今も昔も変わらぬ基本となる大切なことです。昨年度も同様の成果が見られました。保護者の皆様の子どもたちへの温かい関わりのおかげと感謝しております。メディアとの付き合い方や家庭読書など、自由な時間をどう過ごすかは、自分自身で時間をコントロールする力が求められています。子どもたちの健やかな成長にはご家庭の支えが欠かせません。保護者の皆様と連携をとりながら、よりよい方向に向けて進んでいきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。